護摩祈祷

御護摩祈祷は、成田山新勝寺でもっとも重要な宗教的祭祀である。決まった時間に毎日、大本堂で行われる。参拝客は、護摩木という特別な木の棒に願いを書き、護摩木は不動明王の聖なる炎に入れられる。炎は、書かれたメッセージを不動明王に直接届けると考えられており、不動明王はそれに応え、信者の悩みを軽くしてくれる。誰でも堂内に上がって祈祷に参加し、何世紀にもわたって多くの人々が祈りを届けてきた足跡を辿ることができる。参加者は、護摩祈祷の間、自分自身の大切な持ち物を火に当てる「お火加持」も行うことができる。これにより、不動明王の守りを受けられるのである。